



2020年11月16日

## ＜地方創生への取組み＞観光遺産産業化ファンドへの出資と 「三重県における観光による地域活性化」に関する 連携協定の締結について

株式会社百五銀行（頭取 伊藤 歳恭）は、株式会社地域経済活性化支援機構（代表取締役社長 林 謙治、以下、REVIC）などが設立、運営する「観光遺産産業化投資事業有限責任組合：通称、観光遺産産業化ファンド」への出資を決定しました。また、本日、当行は、本ファンドの活動の一環として、三重県、株式会社第三銀行（頭取 岩間 弘）、桑名三重信用金庫（理事長 中澤 康哉）、REVIC と共同で、「三重県における観光による地域活性化」に関する連携協定を締結しましたので、下記のとおり、お知らせします。

本協定にもとづき伊勢市、鳥羽市、志摩市を核に「伝統文化・自然遺産等を活用した観光による地域活性化」の実現に向けた取組みを共同で県内に広く推進し、持続可能な地域社会の実現に貢献していきます。

### 1 観光遺産産業化ファンドへの出資について

#### （1）概要

名称	観光遺産産業化投資事業有限責任組合（観光遺産産業化ファンド）
ファンド総額（予定）	30億円
組合構成員	株式会社百五銀行、株式会社北洋銀行、株式会社岩手銀行、株式会社横浜銀行、株式会社山梨中央銀行、株式会社ゆうちょ銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社栃木銀行、株式会社足利銀行、株式会社静岡銀行、三島信用金庫、株式会社紀陽銀行、京都信用金庫、株式会社第三銀行、桑名三重信用金庫、株式会社観光産業化投資基盤
戦略パートナー	株式会社 ANA 総合研究所、WILLAR 株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、凸版印刷株式会社、日本航空株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、株式会社 JTB 東武鉄道株式会社、京阪ホールディングス株式会社
設立日	2019年6月19日
存続期間	8年間
業務運営者	株式会社観光産業化投資基盤

#### （2）目的

「日本ならではの」の魅力を持つ観光資源である「観光遺産（文化遺産・自然遺産等）」を活用する観光事業者に対し、出資および経営人材等のハンズオン支援を通じて、地方への誘客および地域の観光消費額増加などを図ることを目的としています。

## 2 「三重県における観光による地域活性化」に関する連携協定について

### (1) 締結日

2020年11月16日（月）

### (2) 連携当事者

百五銀行、三重県、第三銀行、桑名三重信用金庫、REVIC

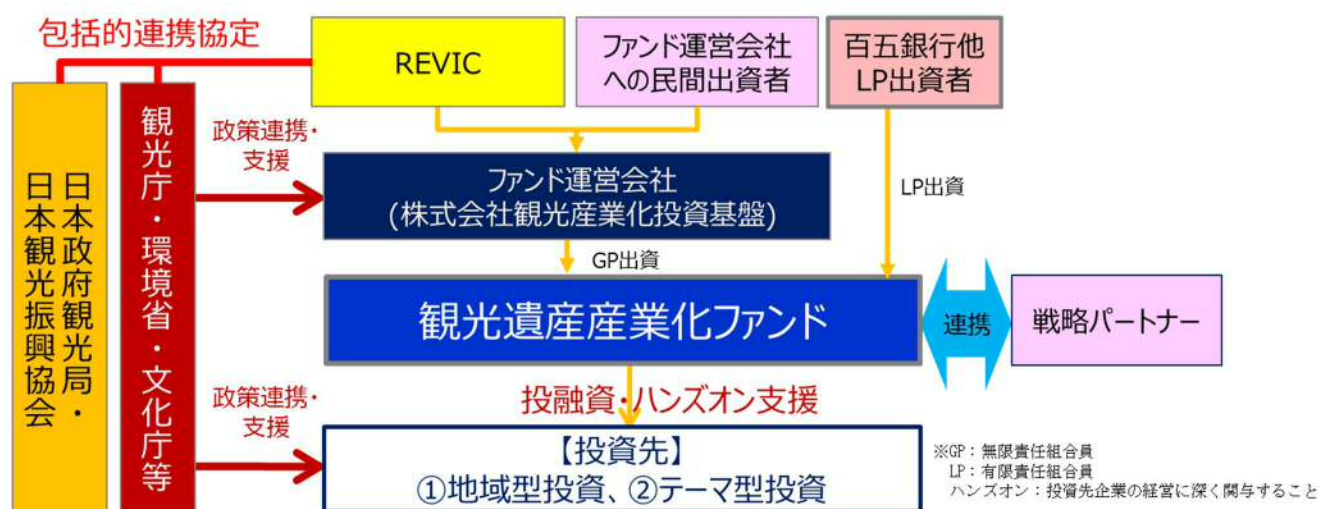
### (3) 連携協定内容

- ① 県内において持続可能な観光地づくりによる地域活性化のモデル構築を主体的に目指す地域に対して、投融資やハンズオン支援を行う「観光遺産産業化ファンド」のスキームにより支援すること。
- ② 「観光遺産産業化ファンド」の投融資の対象となる県内の地域に対し、観光や地域活性化のノウハウ、マーケティング、経営マネジメント等の専門的スキルをもって支援すること。
- ③ 相互に定期的な情報交換及び意見交換等を行い、連携協力体制を構築すること。

### (4) 目的

持続可能な観光地づくりによる地域活性化に向けた取組を着実に進めていくため、本協定当事者が連携および協力することを目的としています。

## 【ご参考】 「観光遺産産業化ファンド」スキーム図



以上